

高等学校 令和7年度(2学年用) 教科 公民 科目 公共

教科: 公民 科目: 公共 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 1 組 ~ 7 組

使用教科書: ( 高等学校704 公共 (実教出版) )

教科 公民 の目標:

【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。

【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。

【学びに向かう力、人間性等】 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしてい

科目 公共 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	西洋近現代の思想 【知識及び技能】 近世・近代・現代の世界の思想家の思想内容を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 先哲の思想や生き方から自分自身の生き方を検証し、公共的な空間を作る主体としての自己の生き方について考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 選択・判断の手掛かりとなる考え方を理解し身につけさせる。	・第一節 西洋近現代の思想 1. 科学的・合理的な考え方 2. 民主社会の倫理 3. 他者とともに生きる	【知識・技能】 近世・近代・現代の世界の思想家の思想内容が理解できている。 【思考・判断・表現】 先哲の思想や生き方から自分自身の生き方を検証し、公共的な空間を作る主体としての自己の生き方について考察できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 選択・判断の手掛かりとなる考え方を理解し身につけようとしている。	○	○	○	4
	現代の諸課題と倫理 【知識及び技能】 地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命科学や情報技術の進展などの事象について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 公共的な空間における人間としての在り方生き方を考察するための選択・判断の手掛かりを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 選択・判断の手掛かりとなる考え方をを使って、現代の諸課題を主体的に追究する。	・第二節 現代の諸課題と倫理 1. 地球環境をめぐる問題 2. 資源・エネルギーをめぐる問題 3. 生命をめぐる問題 4. 情報をめぐる問題	【知識・技能】 地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命科学や情報技術の進展などの事象について理解できている。 【思考・判断・表現】 公共的な空間における人間としての在り方生き方を考察するための選択・判断の手掛かりが考察できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 選択・判断の手掛かりとなる考え方をを使って、現代の諸課題を主体的に追究できている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	民主社会の基本原則 【知識及び技能】 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 このような基本的原理を考察することによって、個人と社会との関わりを多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 民主政治が自らの生活と関わっていることを理解し、民主社会に主体的に生きる人間のあり方生き方について思索を深められている。	・第一節 民主社会の基本原則 1. 民主政治と基本的人権 2. 権力分立と法の支配 3. 個人や社会とのかかわり	【知識・技能】 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解できている。 【思考・判断・表現】 このような基本的原理を考察することによって、個人と社会との関わりを多面的・多角的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 民主政治が自らの生活と関わっていることを理解し、民主社会に主体的に生きる人間のあり方生き方について思索を深められている。	○	○	○	4
	日本社会の基本原則 【知識及び技能】 日本国憲法の基本原則や保障されている権利が理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日本国憲法の基礎にある考え方に着目し、公共的な空間における基本的原理との関連を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 日本国憲法で保障されている権利が理解でき、自らの生き方と権利を結びつけることができる。	・第二節 日本社会の基本原則 1. 日本国憲法と基本原則 2. 平等権・自由権 3. 社会権・参政権・請求権 4. 人権の広がり 5. 国会のしくみと役割 6. 内閣のしくみと行政機構	【知識・技能】 日本国憲法の基本原則や保障されている権利が理解できている。 【思考・判断・表現】 日本国憲法の基礎にある考え方に着目し、公共的な空間における基本的原理との関連を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本国憲法で保障されている権利が理解でき、自らの生き方と権利を結びつけることができる。	○	○	○	7
定期考査			○	○		1	

2 学 期	法と契約 【知識及び技能】 法や規範の意義や役割を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日常の買い物や銀行のクレジットカードなど具体的な例を挙げる。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な紛争状況を設定し、それを解決するためのルール作りを体験的に行う。	第一節 法と契約 1. 法・規範の意義と役割 2. 経済社会とルール 3. 契約と消費者の権利	【知識・技能】 法や規範の意義や役割が理解できている。 【思考・判断・表現】 日常の買い物や銀行のクレジットカードなど具体的な例を挙げるができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な紛争状況を設定し、それを解決するためのルール作りを体験的に行うことができる。	○	○	○	3
	司法参加の意義 【知識及び技能】 公正な裁判には司法権の独立が必要であり、国民の参加が大切であることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・裁判員制度がどのような目的で創設されたか考察する。 ・裁判によって国民のどのような権利が守られているのか考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 模擬裁判などを通して、司法に関心を持ち裁判員制度の意義をふまえ積極的に参画する自覚を持たせる。	第二節 司法参加の意義 1. 司法権と日本の裁判制度 2. 司法参加の意義	【知識・技能】 公正な裁判には司法権の独立が必要であり、国民の参加が大切であることが理解できている。 【思考・判断・表現】 ・裁判員制度がどのような目的で創設されたか考察できている。 ・裁判によって国民のどのような権利が守られているのか考察できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 模擬裁判などを通して、司法に関心を持ち裁判員制度の意義をふまえ積極的に参画する自覚を持つことができている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
	政治参加と民主政治の課題 【知識及び技能】 地方自治や選挙の仕組み、政党の役割を考察することによって具体的に民主政治を支える制度を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・選挙制度の違いによって、政党制にも大きな違いがでてくることを考察する。 ・自分が理想とする選挙制度を選択する。 【学びに向かう力、人間性等】 模擬投票などを通して、選挙に積極的に参加するなど主権者としての自覚を持つ。	・第一節 政治参加と民主政治の課題 1. 選挙の役割と意義 2. 政党の役割 3. 地方自治の現状と課題 4. 世論の形成と政治参加	【知識・技能】 地方自治や選挙の仕組み、政党の役割を考察することによって具体的に民主政治を支える制度を理解できている。 【思考・判断・表現】 ・選挙制度の違いによって、政党制にも大きな違いがでてくることを考察できている。 ・自分が理想とする選挙制度を選択することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 模擬投票などを通して、選挙に積極的に参加するなど主権者としての自覚を持つことができている。	○	○	○	4
	国際政治の動向 【知識及び技能】 ・国際法の意義や国際紛争を解決する機関の役割を理解する。 ・国際連盟・国際連合の組織と役割を理解する。 ・冷戦の成立とその終結後の国際政治の流れを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・集団的安全保障がなぜ有効なのか考察する。 ・国連の現状と課題について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日々報道される世界の国際紛争に関心を持てる。 ・それぞれの紛争の解決への筋道は何か提示することができる。	・第二節 国際政治の動向 1. 国際社会と国際法 2. 戦後の国際情勢 3. 現代の紛争	【知識・技能】 ・国際法の意義や国際紛争を解決する機関の役割が理解できている。 ・国際連盟・国際連合の組織と役割が理解できている。 ・冷戦の成立とその終結後の国際政治の流れが理解できている。 【思考・判断・表現】 ・集団的安全保障がなぜ有効なのか考察できている。 ・国連の現状と課題について考察できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日々報道される世界の国際紛争に関心が持てている。 ・それぞれの紛争の解決への筋道は何か提示することができる。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1

